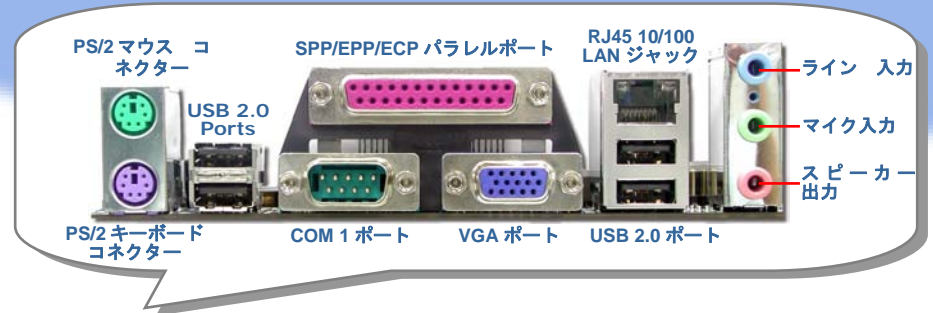
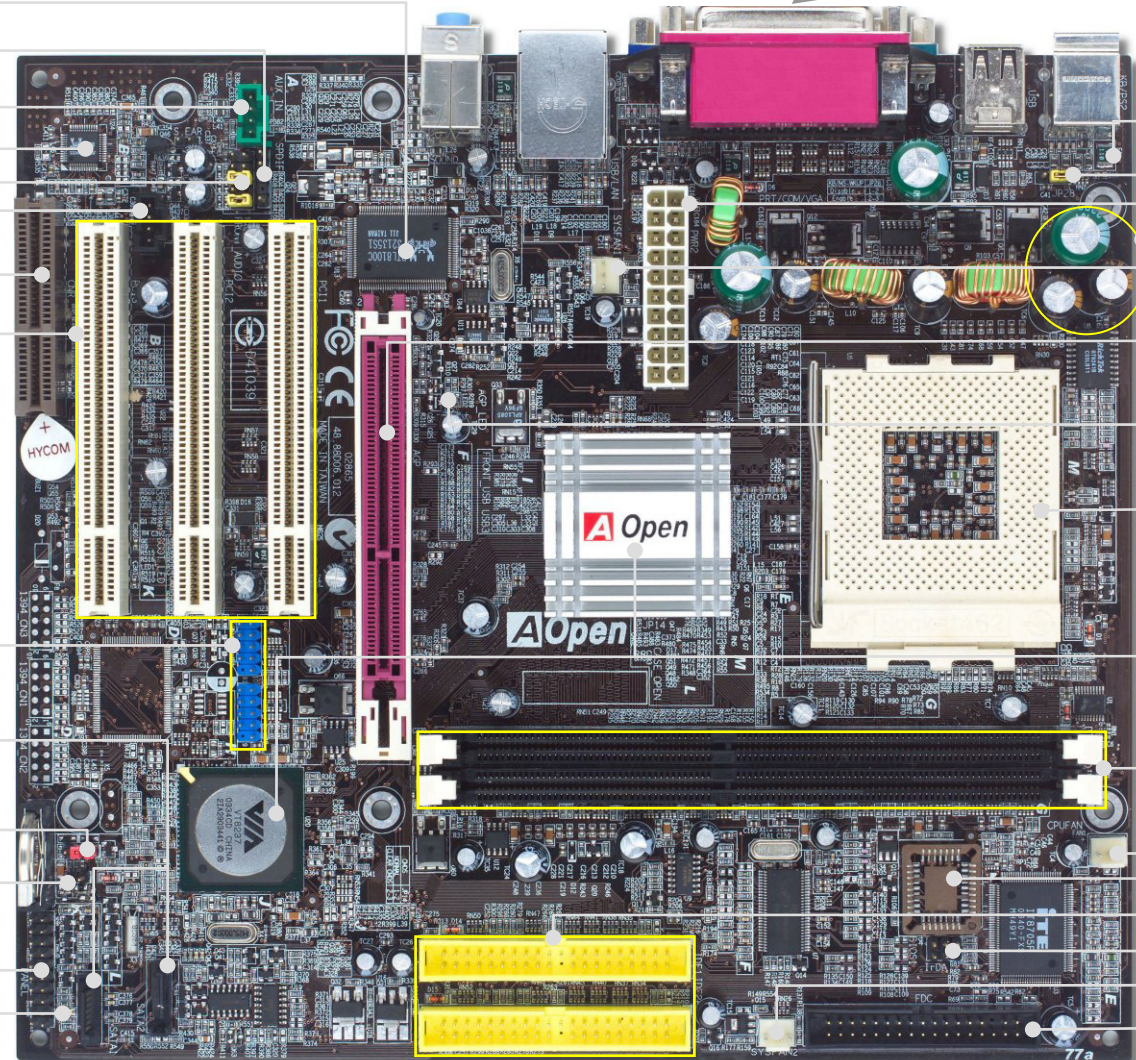


vKM400Am-S / vKM266Pm



- RealTek 10/100 Mbps LAN チップ
- S/PDIF コネクタ
- AUX_IN コネクタ
- オンボード AC'97 CODEC
- 前面オーディオコネクタ
- CD_IN コネクタ
- CNR 拡張スロット
- 32 ビット PCI 拡張スロット x3
- USB 2.0 コネクタ x2 (vKM400Am-S)
- USB 2.0 コネクタ x 1 (vKM266Pm)
- シリアル ATA ポート x2
- 150 MB/s 転送率をサポート (vKM400Am-S のみ)
- JP14 CMOS データクリアジャンパ
- Case Open コネクタ
- 前面パネルコネクタ
- ブート LED



- リセット可能フューズ
- JP28 PS2 KB/Mouse 起動ジャンパ
- ATX 電源コネクタ
- 機能性高分子キャパシタ
- SYSFAN1 コネクタ
- 8X AGP カードをサポートする AGP 8X 拡張スロット (2.1GB/s) (vKM400Am-S)
- 4X AGP カードをサポートする AGP 4X 拡張スロット (1056MB/s) (vKM266Pm)
- AGP 保護 LED
- AMD Athlon™ / Athlon™ XP/Duron (CPU 過熱保護回路の Athlon™ XP/Duron CPU のみ)をサポートする電圧と周波数の自動検知付きの 462 ピン CPU ソケット
- FSB 400/333/266 をサポートする VIA KM400A/VIA 8237 チップセット (vKM400Am-S)
- FSB 333/266 をサポートする VIA KM266Pro/VIA 8235CE チップセット (vKM266Pm)
- 128 ビット DDR400/333/266 をサポートする 184 ピン DIMMs x2
- 最大 2GB まで (vKM266Pm は DDR 333/266 のみをサポート)
- CPUFAN コネクタ
- ダイハード BIOS Lite
- IDE コネクタ x 2 (ATA 66/100/133 をサポート)
- IrDA コネクタ
- SYSFAN2 コネクタ
- FDD コネクタ

AOpen は本文書に含まれる全ての仕様と情報を改定する権利を留保しており、通知なしに変更を加えることがあります。



はじめに

自分でインストールする

本マザーボードを起動させるために必要なものはこのイージー・インストール・ガイドに含まれています。詳細はボーナスパック CD にあるオンライン・ユーザーズ・マニュアル一式をご覧ください。地球を救うための皆様のご援助に感謝致します。

アクセサリチェックリスト

- イージー・インストール・ガイド x 1
- 80-Wire IDE ケーブル x 1
- シリアル ATA ケーブル x 1 (vKM400Am-S のみ)
- シリアル ATA 電源ケーブル x 1 (vKM400Am-S のみ)
- フロッピードライブケーブル x 1
- ボーナスポック CD x 1
- I/O シールド x 1



PART NO:

DOC. NO: VKM400AMS-EG-J0406A

8x AGP8X

Serial ATA

ATA133

Flash EzWin Flash

DDR400

RAID

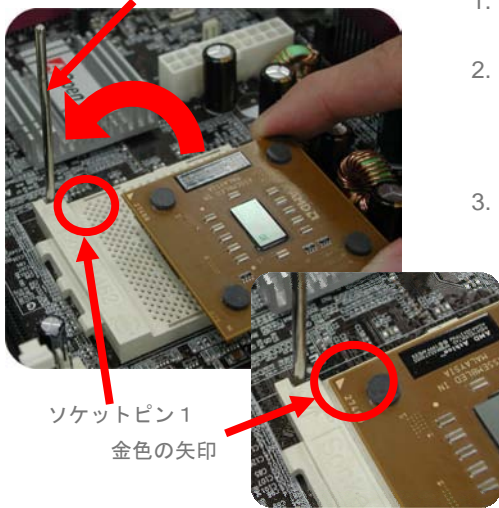
DieHard BIOS

SilentTek

1. CPU をインストールする

本マザーボードは AMD[®] Athlon Socket 462 シリーズ CPU をサポートしています。CPU ソケットに挿入するときの CPU の向きに注意してください。(CPU 過熱保護機能が装着されているので、CPU の温度が 97 度に達するとシステムが自動的に電源をオフにします。Athlon[™]XP / Duron CPU のみで機能します。)

CPU ソケットレバー

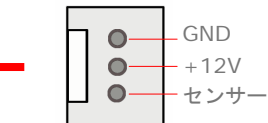
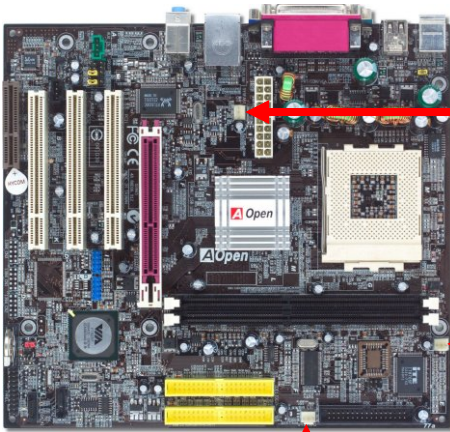


1. CPU ソケットレバーを 90 度の角度まで引き上げる。
2. ソケットのピン 1 を確かめ、CPU 上部にある金色の矢印を探す。ピン 1 と金色の矢印を合わせる。次に CPU をソケットに差し込む。
3. CPU ソケットプレートとレバーを押し込み、CPU のインストールは完了。

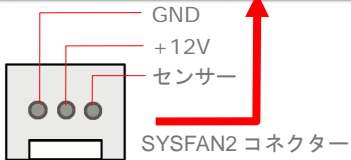
注意: CPUソケットのピン1とCPUのふちの切り込みが合わない場合は、CPUが破損するかもしれません。

2. CPU とシステムファンをインストールする

CPU ファンケーブルを 3 ピン CPUFAN コネクタに接続します。もしケースにファンがあれば、SYSFAN1 が SYSFAN2 コネクタに接続できます。



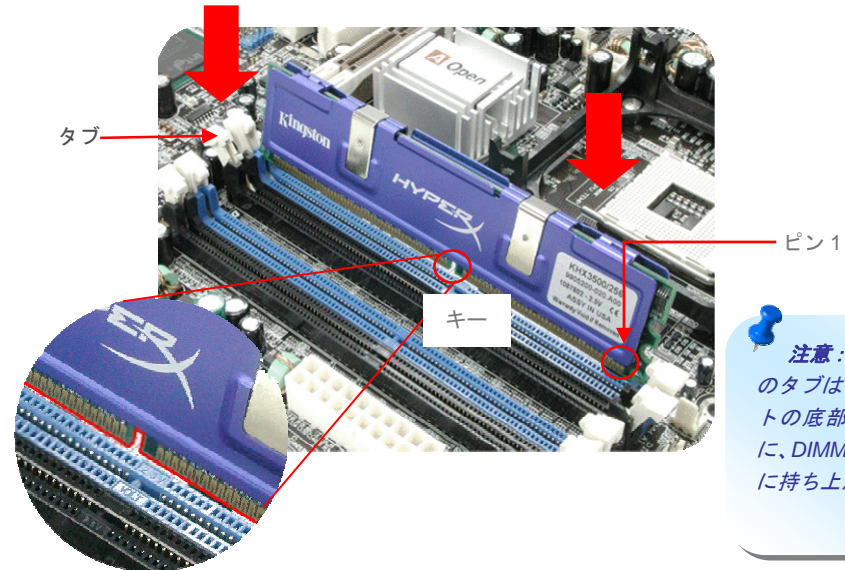
CPUFAN コネクタ



注意: CPU ファンの中にはセンサーピンのないものがあるので、その場合はファンのモニターをサポートできません。

3. メモリーモジュールをインストールする

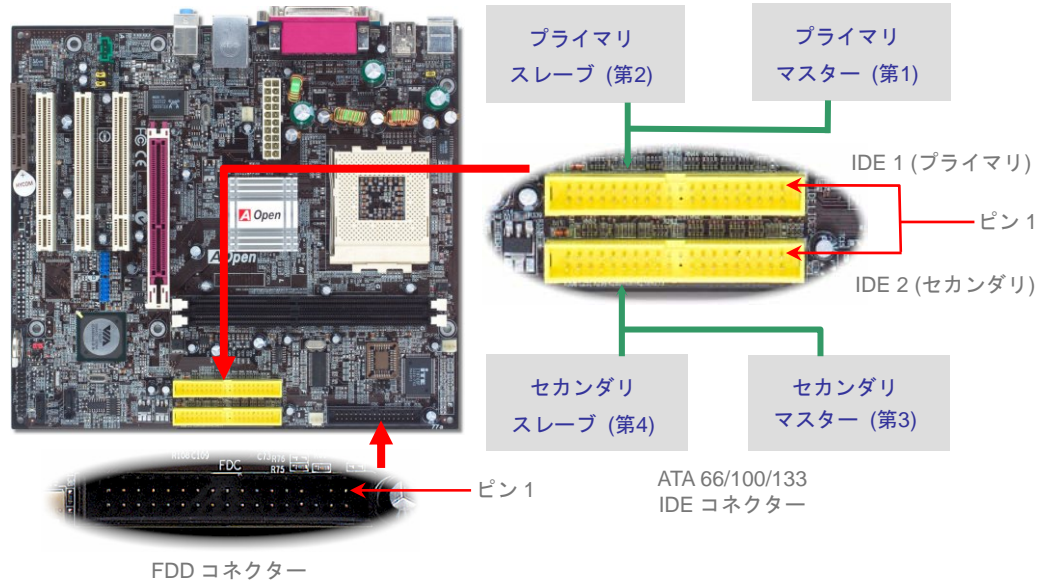
DIMM スロットは分かりやすいように黒色に設計されています。モジュールを両手でまっすぐに DIMM スロットに挿入し、DIMM モジュールがしっかりと固定されるまで押し込んでください。



注意: DIMM スロットのタブは DIMM がスロットの底部に接触したときに、DIMM を固定するために持ち上がります。

4. IDE とフロッピーケーブルを接続する

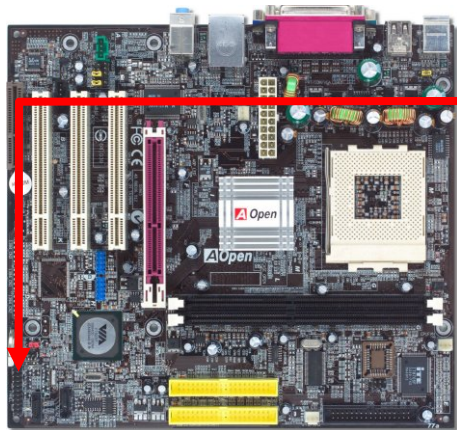
34 ピンのフロッピーケーブルと 40 ピンか 80 ワイヤー IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDD と IDE コネクタに接続します。ピン 1 の向きに注意してください。向きを間違えるとシステム損傷の原因になります。



5. 前面パネルケーブルを接続する

電源 LED、スピーカー、リセットスイッチコネクタを対応するピンに取り付けます。BIOS 設定の“サスペンドモード”の項目を有効にすると、システムがサスペンドモードになっている間、ACPI & Power LED が点滅します。

ATX ケースの電源スイッチケーブルを確認してください。ケースの前面パネルの 2 ピンのメスのコネクタです。このコネクタを SPWR と記されたソフトパワースイッチコネクタに接続します。

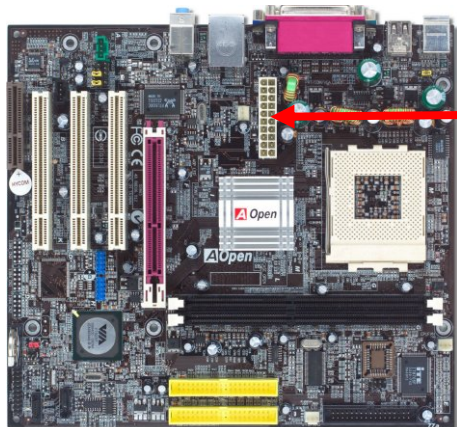


1		
NC		Power Switch
NC		GND
+5V		Power LED-
HDD LED		GND
HDD LED		Power LED+
+5V		NC
+5V		GND
GND		GND
NC		RESET
SPEAKER		GND

Front Panel Connector

6. ATX 電源ケーブルを接続する

本マザーボードには下に示されているように、20 ピンの ATX 電源コネクタがあります。正しい向きで差し込んでください。



+12V		+5V	
5VSB		+5V	
PW-OK		-5V	
COM		COM	
+5V		COM	
COM		COM	
+5V		PS-ON	
COM		COM	
+3.3V		-12V	
+3.3V		+3.3V	

7. 電源投入と BIOS 設定を起動する

ジャンパーの設定を終えてから正しいケーブルを接続してください。電源を投入し、BIOS 設定に入ります。POST (パワーオン・セルフテスト)画面の間、キーを押してください。推奨のオプションパフォーマンスのために"Load Setup Defaults"を選択します。

Del

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility

- ▶ Standard CMOS Features
- ▶ Advanced BIOS Features
- ▶ Advanced Chipset Features
- ▶ Integrated Peripherals
- ▶ Power Management Setup
- ▶ PnP/PCI Configurations
- ▶ Silent BIOS/HW Monitor
- ▶ Frequency/Voltage Control

Load Setup Defaults

- Load Turbo Defaults
- Set Password
- Save & Exit Setup
- Exit Without Saving
- Load EEPROM Defaults
- Save EEPROM Defaults
- ▶ Credits

警告: お使いのシステムコンポーネント (CPU, RAM, HDD, etc.) が、ターボ設定に適しているとはっきり分らない限り、"Load Turbo Defaults"の使用は避けてください。

8. AOpen ボーナスパック CD

ボーナス CD のオートランメニューをお使いください。ユーティリティとドライバーを選択し、それからモデル名を選ぶとインストールが自動的に完了します。

AOpen Bonus Pack

Motherboard Online Manual
Acrobat Reader
DocuCom Reader
Motherboard Drivers
Hardware Monitor Utility
Norton Antivirus
Norton CrashGuard
3Deep E-Color
Microsoft DirectX 8.1
AOCConfig
Exit

Motherboard Drivers

Please select your motherboard and OS from the following list,
click "OK" to install driver;
or click "Cancel" to the previous window.

VKM400Am-S Windows XP

Please Select a Driver from this list to install

VIA Hyperion 4in1 driver
VIA/S3G UniChrome Graphics Win2K/XP Driver
Realtek Avance AC97 Audio Driver
Realtek RTL8139/810x NIC Driver
VIA USB 2.0 Driver
VIA SATA RAID Driver

Installs drivers of your motherboard, including Chipset, VGA, LAN, RAID, IDE and Audio drivers. You have to refer to the user's manual to check what chipset your motherboard is based on.

CPU 電圧と周波数を設定する

CPU のコア電圧を設定する

本マザーボードは電源投入の間、CPU 電圧を自動的に検知する Voltage ID (VID)機能をサポートしています。ご自分で CPU 電圧を設定する必要はありません。

CPU の周波数を設定する

本マザーボードは CPU のジャンパー不要設計のため、BIOS 中の 1MHz ずつの CPU オーバークロックを通して CPU 周波数を設定できます。CPU コア周波数 = CPU FSB クロック × CPU 比率。しかし、現在販売されている CPU は全て "Fixed Multiplier (固定乗数)" に属しています。これはユーザーが CPU 比率を調整することはできず、オーバークロックのためには CPU FSB クロックの変更しかできないという意味です。

(ユーザーは自分のリスクでオーバークロックを行ってください!)

BIOS 設定 > 周波数 / 電圧制御 > CPU スピード設定

CPU比率	5.5xから16.5xまでは0.5xずつ; 17xから18xまでは1xずつ
CPU FSB (手動での調整)	FSB= 100MHz-255MHz、1MHzずつのCPUオーバークロックによる

CPU	CPUコア周波数	EV6バス クロック	比率
Athlon 1.33G	1.33GHz	266MHz	10.0x
Athlon 1.4G	1.4GHz	266MHz	10.5x
AthlonXP 1500+	1.3GHz	266MHz	10.0x
AthlonXP 1600+	1.4GHz	266MHz	10.5x
AthlonXP 1700+	1.46GHz	266MHz	11.0x
AthlonXP 1800+	1.53GHz	266MHz	11.5x
AthlonXP 1900+	1.6GHz	266MHz	12.0x
AthlonXP 2000+	1.667GHz	266MHz	12.5x
AthlonXP 2100+	1.73GHz	266MHz	13x
AthlonXP 2200+	1.80GHz	266MHz	13.5x
AthlonXP 2400+	2.0GHz	266MHz	15x
AthlonXP 2600+	2.13GHz	266MHz	16x
AthlonXP 2500+	1.83GHz	333MHz	11x
AthlonXP 2700+	2.16GHz	333MHz	13x
AthlonXP 2800+	2.083GHz	333MHz	12.5x
AthlonXP 3000+	2.167GHz	333MHz	13x
AthlonXP 3200+	2.2GHz	400MHz	11x

注意: CPUのスピードは急速に変化するため、このインストラクションガイドを手にする時点ではより高速のCPUがあるかもしれません。この表は参照のためのものです。

注意: CPUファンのあるものはセンサーピンがないので、その場合はファンのモニターをサポートできません。

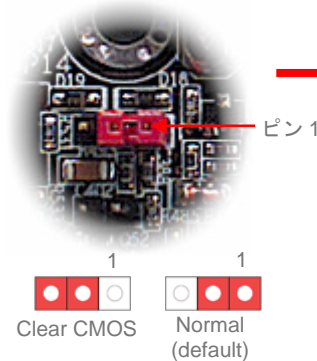
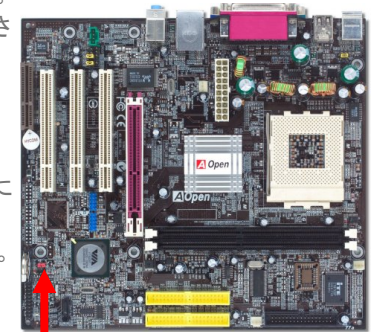
注意: vKM266PmはFSB 333/266のみをサポートします。

警告: 過熱によるCPUダメージを避けるため、本マザーボードにはCPU過熱保護回路が設計されています。本マザーボードが摂氏97度以上のCPU温度を検知すると、システムが自動的に電源を切ります。

JP14 クリア-CMOS

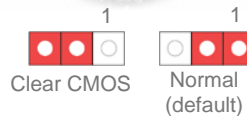
デフォルト設定を戻すことで CMOS をクリアできます。CMOS をクリアするために以下の手順に従ってください。

1. システムの電源を切り、AC 電源を取り外す。
2. PWR2 コネクタから ATX 電源ケーブルを外す。
3. JP14を確認し、ピン2-3を2、3秒間短絡する。
4. ピンの1と2を短絡することで、JP14を通常の設定に戻す。
5. ATX 電源ケーブルを元の PWR2 コネクタに接続する。



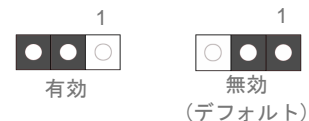
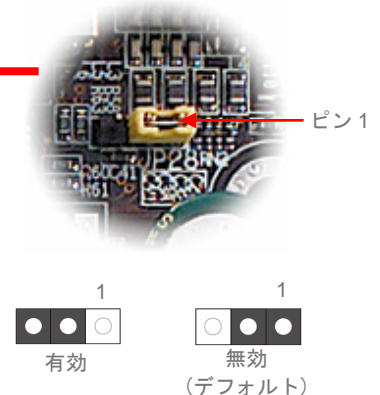
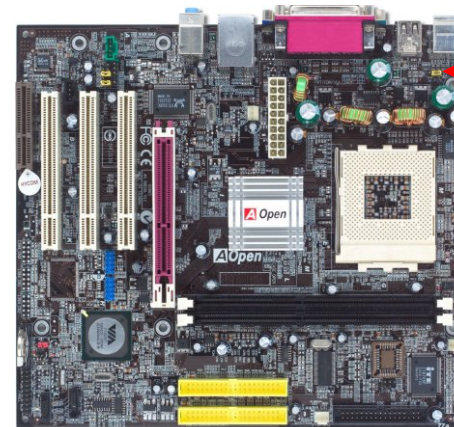
ヒント: いつ CMOS をクリアするの?

1. オーバークロックのためにブートが失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティングで...



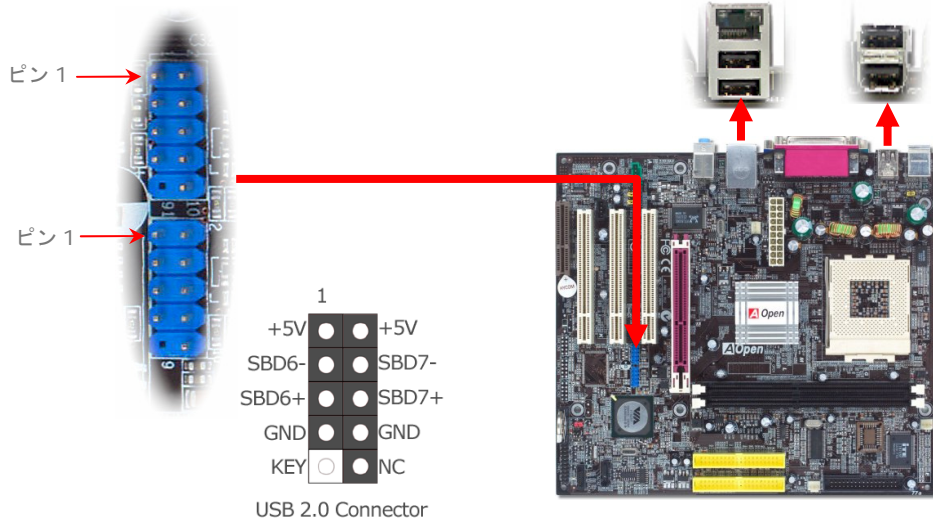
JP28 キーボード/マウス起動ジャンパー

本マザーボードはキーボード/マウスの起動ジャンパー機能を提供しています。この機能を有効にしたり無効にするには JP28 を使います。キーボードやマウスでサスペンドモードから再開できるようになります。工場出荷時のデフォルト設定は“無効”(1-2)ですので、ジャンパーを2-3に設定すると、この機能が有効になります。



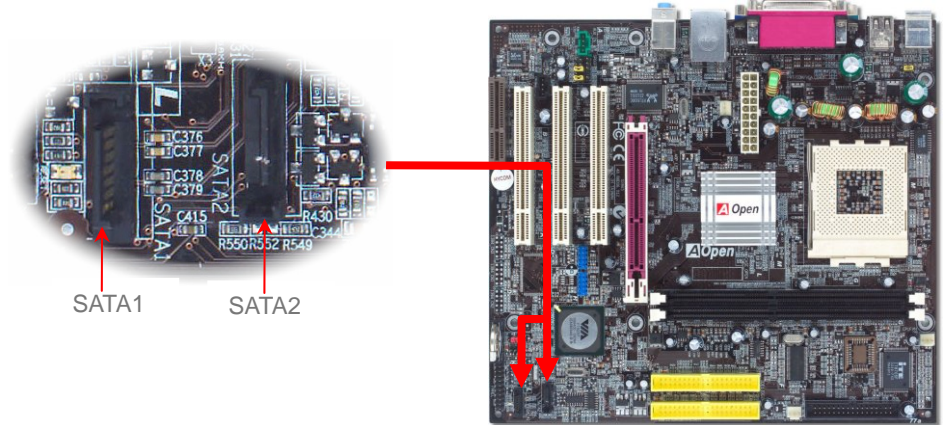
USB 2.0 コネクター

本マザーボードはマウス、キーボード、モデム、プリンターなどの USB 装置に接続できるよう 8 つの USB 2.0 ポート (vKM400Am-S) と 6 つの USB 2.0 ポート (vKM266Pm) を備えています。後部パネルにはポートが 4 つあります。前面 USB コネクターを USB モジュールやケースの前面パネルに接続するために適切なケーブルを使えます。



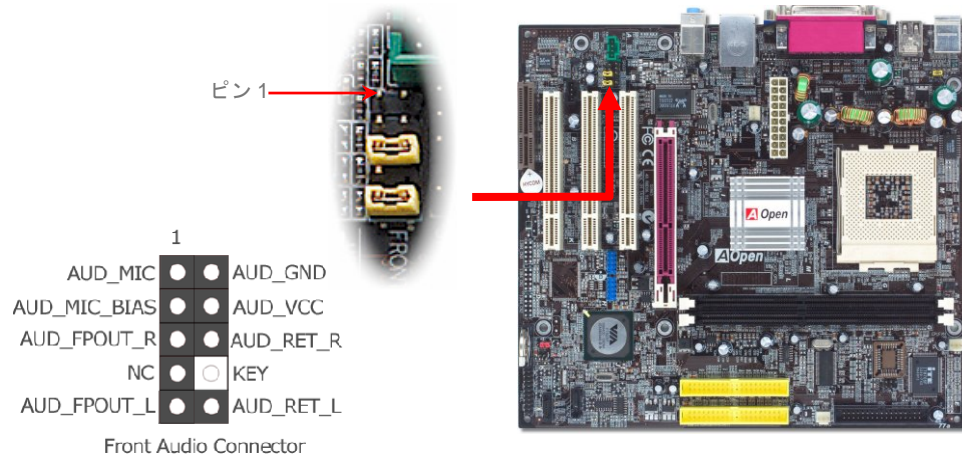
シリアル ATA コネクター (vKM400Am-S のみ)

シリアル ATA ディスクに接続するために、7 ピンのシリアル ATA ケーブルが必要です。シリアル ATA ケーブルの両端をマザーボード上のシリアル ATA ヘッダーとディスクに接続してください。他の従来のディスクのように、電源ケーブルも接続します。ジャンパー不要装置であることに注意してください。マスターかスレーブかを定義するためにジャンパーを設定する必要はありません。シリアル ATA ハードディスクをシリアル ATA ポートにインストールするときは、SATA1 に接続した側が自動的に最初にブートするデバイスとして設定されます。ホットプラグ機能をサポートしていないことに注意してください。



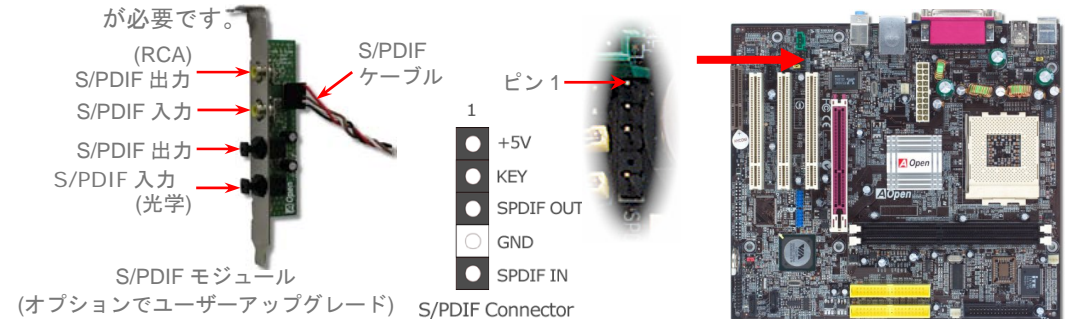
前面オーディオコネクター

もしケースの前面パネルにオーディオポートが付いていれば、このコネクターを通してオンボードオーディオを前面パネルに接続できます。ケーブルと接続する前に、前面オーディオコネクターから 5-6 と 9-10 のジャンパーキャップを外してください。もし前面パネルにオーディオポートがなければ、これらの黄色の 5-6 と 9-10 のジャンパーキャップを外さないでください。



S/PDIF (Sony/Philips デジタルインターフェイス) コネクター

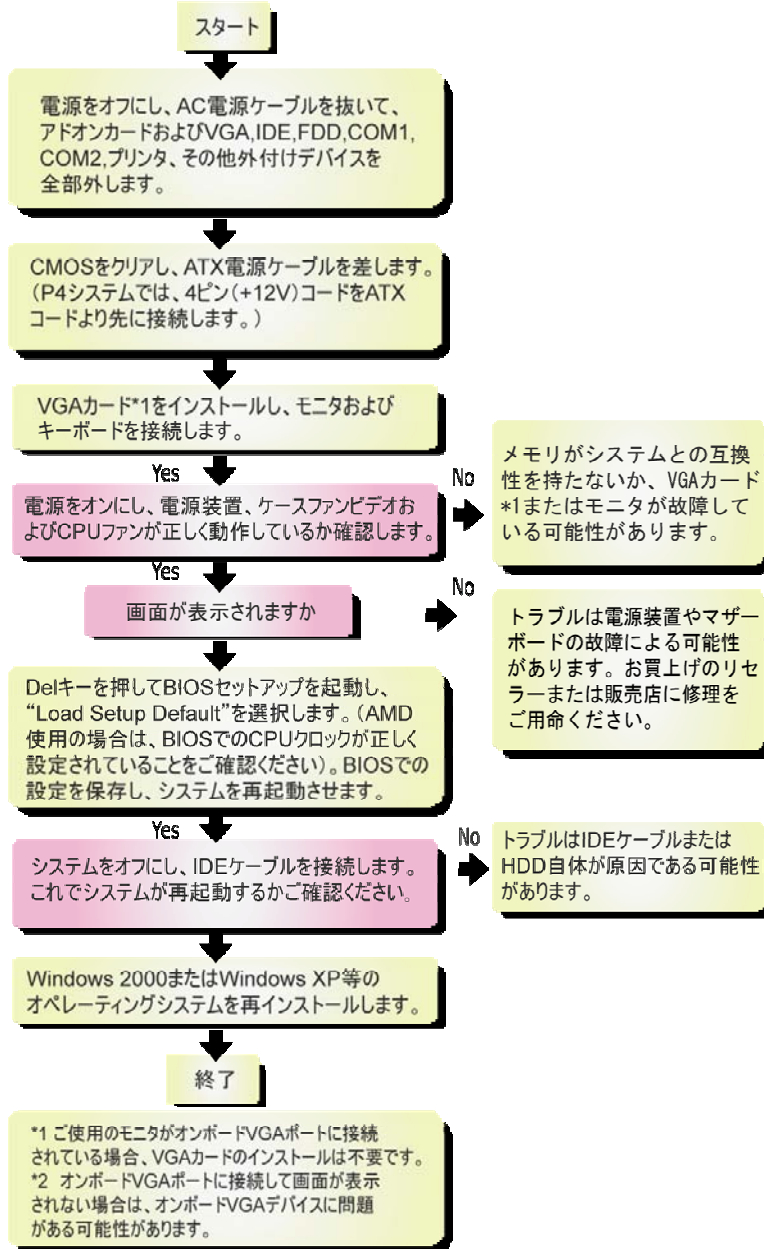
S/PDIF (Sony/Philips デジタルインターフェイス) は最新のオーディオ転送ファイルフォーマットです。これは光ケーブルを通して優れたオーディオ品質を提供し、アナログオーディオの代わりにデジタルオーディオを楽しんで頂くことを可能にしています。特定のオーディオケーブルを通して、S/PDIF コネクターを S/PDIF オーディオモジュールの他方の端に接続できます。これが S/PDIF デジタル出力を担います。通常は以下に示されるように 2 つの S/PDIF 出力があり、一つは RCA コネクター用、つまり消費されるオーディオ製品にしようされる最も一般的なもの、そして他方はより良いオーディオ品質のための光学コネクター用です。出力のように、RCA あるいは光学オーディオ製品をモジュールのコネクターにインポートしたり、コンピューターから出る音声や音楽をとるために接続することもできます。しかし、この機能を最大限に活用するために、S/PDIF デジタル入力/出力に接続できるよう、S/PDIF デジタル入力/出力を備えた、S/PDIF をサポートするスピーカー/アンプ/デコーダーが必要です。





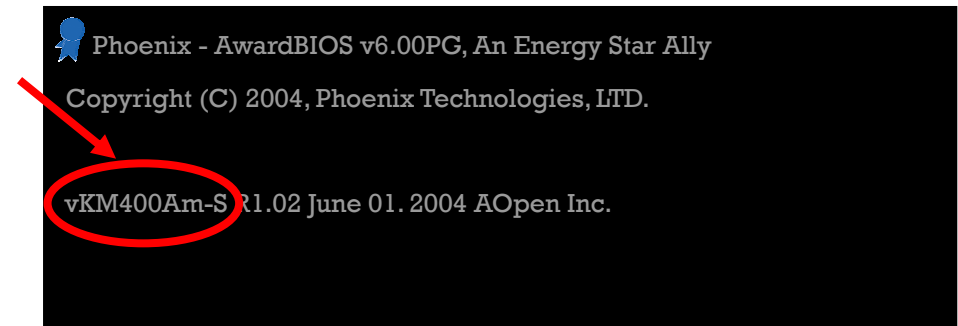
トラブルシューティング

システムのブートに関係したトラブルが起きたなら、問題を解決するために以下の手順に従ってください。



モデル名と BIOS バージョン

モデル名と BIOS バージョンはブートの最初の画面 (POST 画面) の上部左に現れます。例えば：



vKM400Am-Sはマザーボードのモデル名で、R1.02はBIOSバージョンです。

マザーボードを登録する

AOpen 製品をお選び下さりありがとうございます。Club AOpen のゴールド会員になるために、本マザーボードを <http://club.aopen.com.tw/productreg/> にてご登録ください。AOpen が高品質のサービスと優先度を保証するものです。スロットマシンゲームに参加して、AOpen から賞を獲得するチャンスもあります。始める前に以下の情報を準備してください：**モデル名、部品番号 (P/N)、シリアル番号 (S/N)、購入日付**です。部品番号とシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。このバーコードラベルはパッキングの外側が PCB のコンポーネント側にあります。例えば：



部品番号

シリアル番号

P/N: 91.88110.201 は部品番号、S/N: 91949378KN73 はシリアル番号です。

Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ

ビープ音	メッセージ
1 回短く (ビープ)	システムのブートが正常
1 回長く - 1 回短く (ビープ)	DRAM エラー
1 回長く - 2 回短く (ビープ)	ディスプレイカードあるいはモニターの接続エラー
1 回長く - 3 回短く (ビープ)	キーボードエラー
長い (ビープ) が継続	DRAM が正しく装着されていない



テクニカルサポート

お客様各位

この度は AOpen 製品をお選びくださりありがとうございます。今後の良質なサービスを保証する Club AOpen のゴールド会員になるために <http://www.aopen.com> で登録して下さるようお勧めいたします。お客様各位への最良のサービスを維持できるよう、下記の手順に従い、皆様がお買い求めになった地域に従って、各地の支店からサービスをお受けになるようお願い致します。皆様のご協力によって、全てのお客様への効果的で最良のサービスを提供し続けてまいります。

ご理解に厚く感謝致します。

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516 Email:
Support@AOpen.NL

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622 Fax:
86-21-6225-7926

アメリカ

AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2131-1243-710
Fax: 49-2131-1243-999

環太平洋地域

AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

日本

AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ヨーロッパ Email: Support@AOpen.NL
環太平洋 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>
中国 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>
ドイツ <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>
アメリカ <http://usa.aopen.com/tech/default.htm>
日本 <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

オンラインマニュアル：マニュアルをダウンロードするには、まずログオンに必要な言語を指定します。“Type”のディレクトリから“Manuals”を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよびイーजीインストールガイドはAOpenボーナスパックCDにも収録されています。
<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート：PC組立てには、互換性テストレポートからboard/card/deviceの部分をご覧になることをお勧めします。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。
<http://aopen.jp/tech/report/index.htm>

FAQ：ユーザーがよく直面する問題やFAQ（よく尋ねられる質問）が列挙されています。ログオンに必要な言語を指定してから問題の解決方法を見てみます。
<http://aopen.jp/tech/faq/index.htm>

ソフトウェアのダウンロード：ログオンして必要な言語を指定した後、“Type”のディレクトリからアップデートされた最新のBIOSまたはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。大半の場合、最近のバージョンのドライバやBIOSにより、バグや互換性の問題が解決されます。
<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum：AOpen eForumは当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられたか以後答えを得られる可能性があります。ログオンしてから“Multi-language”で必要な言語を指定します。
<http://club.aopen.com.tw/forum/>

当社へのご連絡：ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOSバージョンも大変参考になります。

販売店、リセラーへのご連絡：当社は製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定に関して熟知しており、お持ちの問題の解決方法または重要な参考情報が提供される可能性があります。